



広報

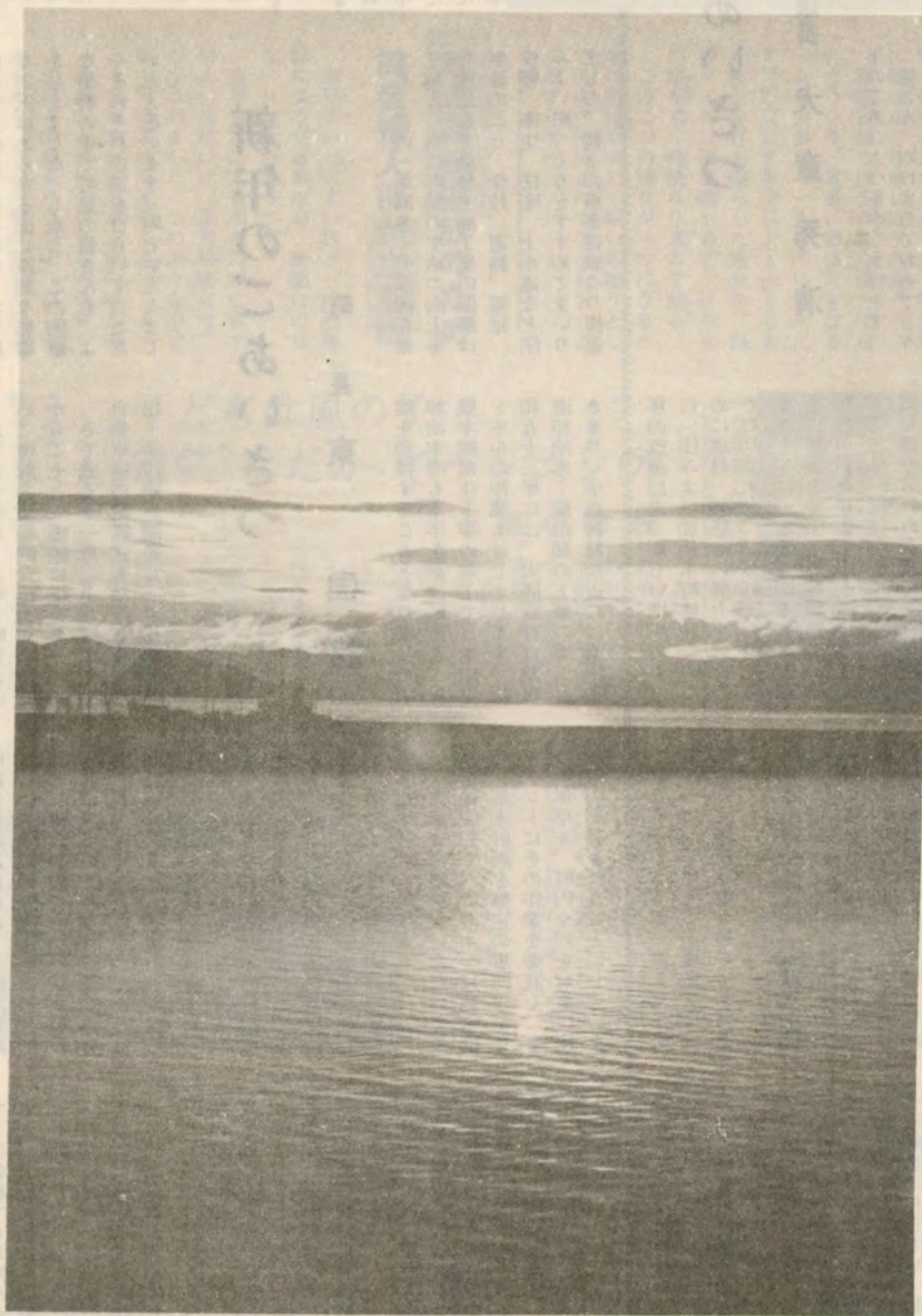
かじき

No. 260
昭和52年

1

発行／加治木町
編集／総務課

印刷 吉屋印刷有限会社



謹賀新年

■メモ 人口／20,863 男／9,920 女／10,943 世帯／6,709 (51年12月1日現在)

ドイツ内各市町の空襲は、日をおうて激しくなった。ベルリン市内もほとんど家は焼けおち、せっかく新築された大使館も地階と地下室が残るだけとなった。

こんな昭和十九年ごろになると政府のユダヤ人迫害もいよいよ強化された。公園には犬とユダヤ人はいるべからずという立札が立てられ、彼らは胸に黄色の星マークをつけさせられた。

大使館の有能な老嘱託の人も暫らく、マークをつけていたが、い

回顧録

—(13)—

ヨーロッパ時代

曾木隆輝

つの間にか行衛不明になった。調べたら家財道具は没収、家は軍人か役人かはいっていった。

ポーランドにできた収容所に何十万のユダヤ人が女子供も一緒にガス攻めで殺され、人間の油は石鹸になったとか、私の室に居たタイピストの一人は母親が、外国系ユダヤの血をひいているとのこと、引っぱられることになった。

私はドイツ警察の最高の責任者の所まで行って、同盟国の大使館の者、われわれの手足をもぐような

ことをしてもらっては困ると直談判して、やっと助けられた。彼女の父親は区役所の課長、祖父はかつて東大の教師だった。

ユダヤ人には食糧切符も普通のドイツ人よりウント制限されていた。こうなる前金持のユダヤ人は大抵日本経由アメリカへ逃げた。私も毎日何人かの出国者の旅券に左証してやった。

十九年のクリスマスに、私は百キロぐらい離れた町へ、日本刀売りますという新聞広告を見て買いに行った。戦争中、日本刀や浮世絵など、日本の古美術品がいくらでも、ただみたような値で出てきた。この遠地まで四、五時間で行く計算だったが、高速道が

氷っていて二十時間ぐらいかかってやっとついた、翌日売り主の家へ行って物を見たら中味はブリッキで中国の芝居用のものだった。

こんな失敗もあったが、第一次世界大戦後、ドイツの在日本大使館武官だった人の未亡人から譲ってもらった刀は、長船の住長光の作で袋の裏は黄蕉布で隅に邪答院氏と書いてあった。

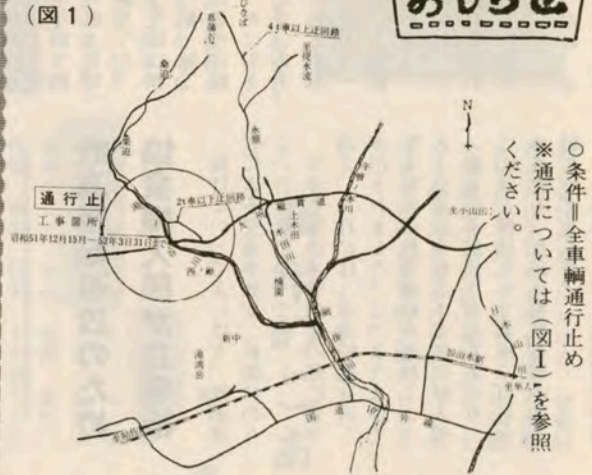
このほか、たくさん刀や広重の版画や江戸時代の美術品が古道具屋でいくらでも入手できた。刀は大島大使が磨いてやるから預らせてくれとのこと、頼んでおいた。でも帰国の際は、すべて持ち帰れなかった。

通行止

町内湯ノ谷川と九州自動車道が交差する側道に、鳥越橋を新設する工事を始めましたので、次の期間通行止めをいたします。

○期間 51年12月15日

(図1)



から52年3月31日まで
○条件 全車輛通行止め
※通行については(図1)を参照ください。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

町社会福祉協議会へ

一万円 港町 尾之上陽子(母川辺ミヨ)
二万円 今町 亀沢タマ子(夫万蔵)
二万円 西岩原 河内ワカ子(夫健)
二万円 下浜 山下スミ子(夫寿美雄)
五千元

西汐入下堀 スミ子(夫春義) 二万円
伊部野 日高 一夫(母セキ) 一万円
吉原 上別府一男妻ヨクヨ 一万円
東諏訪 田代幸子(祖父町田茂吉) 二万円
下浜 竹本キヨ子(夫富造) 一万円
永原 東 マサ(夫藤一) 二万円
宮田ケ平坂元 広幸(父藤夫) 一万円
みろく 福崎 英司(父正一) 二万円
隈原上 榎谷己佐雄(母イロ) 二万円

町育英奨学資金へ

一般篤志寄付

町社会福祉協議会へ

町育英奨学資金へ

四万円 匿名
二万円 町内本町三八八 匿名

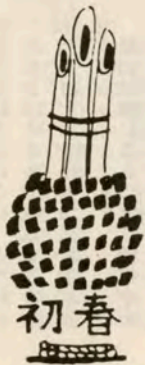
一月の在宅医



1日 大井病院 ③二二九一
2日 池田医院 ②二二二〇
3日 杓岐医院 ②二二二二
9日 上妻医院 ②二四二一
15日 大川医院 ②二〇三二
16日 川畑医院 ③一四九九
23日 神田橋医院 ②二〇二四
30日 岩崎医院 ③二六六一

■：診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■：当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください





町民の皆さん明けましておめでと
うございます。

輝かしい昭和五十二年の新春を迎え、皆さんのご健康を心からお祝い申し上げます。また、昨年中はひとかたならぬご協力をいただきましてありがとうございます。さて、過ぎ去った昭和五十一年を顧みますと国の内外を問わず、政治経済各般に亘り大変きびしい年でありました。特に石油危機以

後の安定成長下における、世界的な不況はあらゆる面に深刻な影響を与えました。しかし、この困難な情勢の中で町民の皆さんも、よくそれぞれの道をひらいていただいたと思います。町といたしまし

もありましたが、これも町民の深いご理解と積極的な協力があつたからこそ、感謝に堪えません。さて去る十一月二十九日は九州自動車道の開通式も挙行され、吉田―溝辺間が開通し、よりその機

新年のごあいさつ

町長 東 国雄

でも、この一年間多くの試練を乗り越え、常に町民の生活の向上を念頭におき農林・商工業の振興は無論のこと、学校、道路、福祉、保健、衛生、住宅、上水道など住みよい町づくりをすすめてまいりました。数々の事業達成なり推進

能を発揮することとなりました。加治木港も本年を最後に完工、日豊本線電化工事の着工で日本山トネルの作業もはじまります。昭和五十三年には、大隅縦貫自動車道加治木―福山間の工事の着工もきまり、小島神社附近には県住宅

供給公社の九百戸が、須崎浜村地区には労住協の住宅三百戸が、それぞれ建設準備であります。更に各地に多くの住宅なり、企業が立地する予定であります。かように、開発が見込まれる状況から、より以上の発展を期するため昭和五十二年当初には、昭和六十五年を目標年次として長期加治木町行政振興計画を策定することといたしました。現在役場内部に振興計画策定委員会を設置し、現況分析を行い、議会や各種機関団体の意見を積極的に求めています。

一方議会の議決をいただいて予算を確保して、この十一月基本構想、基本計画を策定の専門コンサルタントにその作業を委託し、また新年早々、町内全戸を対象に住民意向調査を行うことにしていま

す。広報紙でもお知らせいたしますが、全町民のより積極的な協力と参加をお願い申し上げます。町民の英知と専門家の知性を結集した、加治木町行政計画が製本として出来あがるのは五十二年の中頃になる予定で、必ずや町政発展の立派な指標となり、同時に町政を進める実行計画書になるものと確信します。新しい年こそはかような計画策定も終了し、決意を新にして町政の進展に努力する所存であります。

最後に町民の皆さんの町政に対する一層のご理解と、倍旧のご協力を賜るようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を祈って新年のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ

町議会議長 犬童 秀清



年のごあいさつを申し上げます。

皆さん、明けましておめでとございます。昭和五十二年の輝かしい新春を迎えまして、町民の皆さまとともに栄えいく加治木町の将来をこぼき、あわせて町政の伸展をお祝いできますことは、私の心からの喜びとするところであります。

町議会を代表して、つつしんで新

年の改選以来、新しい構成のもとに「住みよい加治木町建設」のために議員一同懸命の努力をいたしておりますが、二万町民の福祉を増進し生活の安定を図るには、前途に解決を要する問題が数多く横たわっております。その解決を図ることは、直接町政に参画する議員に課せられた責務であり、国及び県の施策と相まって、町財政の範囲内において最大の効果が上るよう努力する覚悟であります。

本町も年々人口は増加し、一昨

年行われた国勢調査では、二万を突破いたしました。しかし、ただ単に人口が増加することばかり手放して喜んでおれない本町の現状

では無いでしょうか。例えば下場地区は増加しても、上場地区は依然として過疎状態が続いております。町執行部としても、当面の対策として道路、下水道の整備、学校施設の整備、産業基盤の整備など精一杯の努力を重ねておりますが、要は住民自治の本旨にそった、広い視野から町政の運営がなされなければなりません。差し当って、懸案の事業として、統合中学校の建設、高岡公園の整備、総合グラウンドの整備、墓地公園の建設、都市計画事業による道路網の整備推進など、早急に解決を要する問題があります。また、県住宅供給

公社の二号団地建設による学校、幼稚園の問題、これに伴う上水道の水源確保の問題等があります。議会としても、将来の加治木町の進むべき道はどうあるべきかについて、執行部ともども明るく、豊かな、住みよい加治木町建設のため全力を尽し、昭和五十二年こそは躍進の年として、最大の努をしていく覚悟であります。

何とぞ倍旧のご指導、ごべんたつをお願いいたします。皆さまのご健康とご幸福をお祈りして、ごあいさついたします。

◆農業委員会だより◆

本年も皆さんの力で進めよう

農地の確保と有効利用

賀正

明けましておめでとうございます。
本年も農地農政問題について「農業委員会だより」を、昨年に引き続き掲載いたしますので、皆様の御意見をいただきたいと思ひます。

農業委員会々長 下 猶 篤男

かけがえない農地
狭くて山の多いわが国の農用地は、国民一人あたりわずか五アールといわれています。

まもり利用を高めていくことが大事だと思ひます。

農地をまもり
拡大しましょう

かつての企業による土地の買い占めブームによって、全国で約四〇万ヘクタールをこえる土地が買い占められ、土地が投機や利殖の対象にされてきました。これに対して農業委員会組織を中心に進めてきた「土地と農業をまもる運動」は、全国各地で大きな反響を呼び着々と成果をあげています。

最近では、金融の引締めや不況などによって土地買い占め、乱開発が一応落ち着いていますが、農業や農村を破壊する土地投機は絶対に防がねばなりません。

国でもこうした観点から昭和五十一年五月に閣議決定された国土計画法は、国土の秩序ある開発を進めるための施策が講じられています。この計画では、これまでの農用地の減少傾向に歯止めをかけ昭和六十年には、逆に現在より一六万ヘクタールの六、二一五の農用地を確保されようとしています。

これを実現するためには今後、農用地のかい廃を極力おさえ農用地造成を積極的に進める必要があります。

と思ひます。本町もそれぞれの地域で土地利用のあり方を見直し、農業振興法による農用地区域の積極的な拡大を図るなど、農用地を守り拡大する運動をさらに推進したいと思ひます。また、今後も企業が買い占めた土地が、目的どおり使われているかどうか監視し、遊んでる土地で農業適地があれば、関係機関と相談して買い戻しを進めたいと思ひます。

遊休農地をなくし
利用を高めよう

農用地の確保と高度利用は、車の両輪でなければなりません。しかし、近年のわが国の耕地利用率は低下し、ほぼ年に一作しか作付けされていない状態になっています。

また荒廃した遊休農地も増えてきています。もちろんこうした背景には、経営規模が零細なことや収益が低いこと、兼業機会が増えたこと、農地の条件が悪いなどさまざまな要因があり、個々の農家で解決できない難しい問題も多くあると思ひます。

そこで、これらの遊休農地や利用の低い農地は、できるだけ専業農家として規模拡大を目指す農家に貸付けするなど地域内の農地の利用を高める工夫も必要と思ひます。

こうしたことから農家が安心して、農地を貸すことができるようないろいろな制度の改正が行われてきております。

昭和五十年からは短期の賃貸借による「農用地利用増進事業」

第二六回 県畜産共進会

加治木町から二頭出品



鹿兒島で開かれた共進会
審査風景この牛の肉質は、

第二十六回の県肉畜共進会は、十二月十六日から十八日までの三日間、鹿兒島市和田町に各市郡から選ばれた牛八十一頭が出品されて開かれました。
始良郡からは九頭、内本町から二頭の牡牛が出品され、多くのすぐれた牛ばかりの中で良い成績をおさめました。

結果は次のとおりです(町内分)
【牡牛】▽優秀賞Ⅱ久留号(七四)

が進められています。またこのほか農地の利用を高めるため、作物の選定、基盤整備事業施設の改善など、生産条件の整備をはかっていかなければなりません。



→郡代表の市野さん(左)と増田さん(右)

町の新教育長に

能瀬英次氏就任



任期満了に伴う寺崎豊志教育長の後任として、町の新しい教育長に能瀬英次氏（前加治木中学校長）が任命されました。

能瀬先生は、昭和十三年に鹿児島師範学校を卒業。日置郡市来小学校教諭をはじめ鹿児島師範や伊

集院小学校教頭を経て、昭和三十二年に県教育委員会指導主事、以後、川辺郡笠沙町立玉林小学校長、日置教育事務所長、県教育委員会の総務課主査兼秘書係長、市教育委員会人事係長のと東桜島中、大竜小、加治木中学校長を歴任した教育行政にふさわしい先生です。今後、本町教育の元締めとして期待されています。

鹿児島市常盤町出身、現住所は町内諏訪町四六。大正六年の生まれで五十九歳。

十二月二十六日付で就任。

町教育委員に

園田竹次郎氏

再任



任期満了による町教育委員会委員の選任は、十一月十六日の町議会本会議で同意され、岩原西の園田竹次郎さんが再任されました。園田さんは、これから町教育委員会委員長として四年間、町教育行政にたずさわっていただくこととなりますが、学校統合問題や施設設備等、まだまだ多くの問題は残っており、今後のご活躍を期待したいと思います。

義弘奉賛武道大会

二会場で技を競う

第九回義弘公奉賛武道大会は、十一月二十三日、日木山にある精



→メン・コテどうだあー

矛神社境内と加治木高校体育館で開かれ、町内をはじめ町外からも多くのチームが参加、日頃の腕を競いました。

剣道大会は、加高体育館に小学校三十一、中学校二十六、高校十七、一般七チームが出場、菱刈小スポーツ少年団、隼人中、鹿児島商業高校Aが優勝、一般は国分自衛隊でした。

弓道大会は、中学校十二、高校二十六、一般十チームにより精矛神社境内に造られた特設道場で行われ、竜門中A、大口南中女、鹿児島商業高校A、加治木高校女Aが優勝、一般は昨年に引きついで日吉町が二年連続の優勝となりました。

この日は、あいにくの肌寒い曇り日にもかかわらず、選手たちは一生懸命で顔に汗をにじませるほどの熱戦だった。

町行政計画策定

住民の意向調査を実施 将来の加治木町は如何に

つきましては、この加治木町百年の計ともいふべき、行政計画の策定に最も大きな関心をもつて参加していただかねばならないのは町民の皆さまではないでしょうか。加治木町をより住みよい町にする為には大きくは、政治・文化・教育・産業・交通等、具体的には学校、道路、福祉、保健衛生、住宅、水道など極めて多くの問題があります。

これらの多くの問題解決は、容易なことではありません。但し金がない、どうしようもない……と傍観しているわけには参りません。一〇年後、二〇年後に「あ、あの時は、ああしておけばよかった。こうしておけばよかった、と後悔することがないように、あつてもそれが少なくすむように計画的な実施ができるようにしなければならぬ」と存じます。

そのような意味で、住民の皆さまがこの計画作成に、積極的に参加していただくことを期待する次第であります。そして住民のより多くの意見を集約した長期の計画が策定され、この計画を土台にして、町行政が住民の期待にそって、より立派に発展するよう、一月十四日から二十日まで、次のような住民意向調査を実施いたします。ごめんどろですが皆様のご協力をお願いいたします。また、行政連絡員の方々はご回収の任にあたってくださいますが、よろしくお願い申し上げます。

一方この受託業者の研究員には調査をお願いしており、町内外各種機関団体の意見を徹底的に聴取しつつあります。

一月十四日から始まる

意向調査内容（抜すい）

調査票は一月十四日後、別紙にて配布されますのでよろしくお願いたします。

お伺いする事項は次のようなものです（番号は調査票の中の設問番号です）

一般的事項

質問① 世帯区分：一人で生活か
家族と一緒か

② 世帯人員は

③ 世帯員の構成は

④ 世帯主の年齢区分は

⑤ 世帯主の性別

⑥ 世帯主の仕事はどんな産業か

⑦ 世帯主の職業は

⑧ 世帯主の勤務地は

⑨ 世帯主が今の職業を選ばれたのはなぜか

⑩ 現在の仕事に満足されていますか

⑪ 住宅（建物）は：持ち家、それとも借家

⑫ 住宅について

⑬ いづれから今の住所にお住まいですか

⑭ 前はどこにお住まいでしたか

⑮ 住宅（建物）は：持ち家、それとも借家

⑯ 生活環境について

⑰ あなたの住まいをとりまく生活環境の中で、特に不満を感じられているものは

⑱ あなたのお住まいのまわりの環境の評価は

⑲ 今後生活施設の中で改善、新設してもらいたいものは

産業について

質問⑩ 買物はどこでされますか

⑪ 加治木町の商業発展のため、どんなところを整備したらいいのでしょうか

⑫ 住民の立場から、商業関係者の立場から

⑬ 加治木町の工業発展のために、どうしたらいいのでしょうか

⑭ 住民の立場から・工業関係者の立場から

⑮ 「農業関係者のみ」：お宅で耕作されている耕地面積は、

⑯ 「農業関係者のみ」：お宅では、今後も農業をつづけられますか

⑰ 農業振興のために、どんな意見・要望をもっていますか

⑱ あなたは加治木町の観光・レクリエーション発展のため、どのような意見・要望をお持ちですか

⑲ 居住意識について

質問②③ 加治木町に愛着を、お感じになりますか

⑳ 将来とも加治木町に住みたいと思いますか、それとも他市町村へ移りたいとお思いですか、

㉑ 他市町村へ移りたい理由はなぜですか、

㉒ 将来目標及び改善の方向について

質問⑬ 今後加治木町の発展にどういったような産業に力を入れていったらよいと思いますか、

⑭ 加治木町の都市像を、町民生活の面からみた場合、どのような都市像を考えられますか

⑮ 将来の都市づくりのために、どのような事を重点に整備していったらいいでしょうか

⑯ 町政全般について、あなたが町及び県に対してどういう政策を希望されますか

⑰ 加治木町の下場地区において農業生産と都市整備における開発と保全のあり方についてどうお考えですか

⑱ 調査事項の要約説明のため、調査票の設問文どおりではありません

※記入の方法は、番号を○でかこむもの、番号をえらんで記入したくもの、文章で意見を述べていただくもの三つとあります。

【番号を○でかこんでもらう例】

質問⑭ 加治木町の都市像を町民生活の立場からみた場合、どのような方向で将来の都市目標を考えたらよいと思われませんか。

次にあげた都市像のうち、どれが最も重要とお考えになりますか。一つだけ選んで番号に○印をつけてください。

1：教育文化施設を充実させた文

2：日常市を目標とする

3：しよい生活都市を目標とする

4：郷土の魅力と加治木らしさを生かしたふるさと都市を目標とする。

5：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

6：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

7：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

8：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

教都市を目標とする

2：日常市を目標とする

3：しよい生活都市を目標とする

4：郷土の魅力と加治木らしさを生かしたふるさと都市を目標とする。

5：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

6：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

7：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

8：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

9：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

10：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

11：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

12：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

13：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

14：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

15：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

16：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

17：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

18：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

19：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

20：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

21：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

22：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

23：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

24：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

25：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

26：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

27：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

28：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

29：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

30：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

31：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

32：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

33：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

34：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

35：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

36：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

37：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

38：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

39：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

40：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

41：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

教都市を目標とする

2：日常市を目標とする

3：しよい生活都市を目標とする

4：郷土の魅力と加治木らしさを生かしたふるさと都市を目標とする。

5：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

6：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

7：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

8：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

9：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

10：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

11：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

12：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

13：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

14：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

15：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

16：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

17：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

18：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

19：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

20：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

21：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

22：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

23：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

24：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

25：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

26：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

27：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

28：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

29：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

30：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

31：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

32：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

33：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

34：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

35：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

36：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

37：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

38：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

39：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

40：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

41：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

教都市を目標とする

2：日常市を目標とする

3：しよい生活都市を目標とする

4：郷土の魅力と加治木らしさを生かしたふるさと都市を目標とする。

5：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

6：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

7：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

8：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

9：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

10：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

11：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

12：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

13：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

14：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

15：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

16：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

17：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

18：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

19：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

20：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

21：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

22：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

23：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

24：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

25：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

26：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

27：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

28：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

29：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

30：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

31：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

32：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

33：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

34：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

35：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

36：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

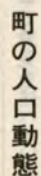
37：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

38：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

39：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

40：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする

41：若年層住民の定着性を高めた活気ある都市を目標とする



「騒音規制区域」の
再発行について」

— (6) —

話 題

あれこれ

時計を図書館に寄贈

新町の鰐石さんから

町立図書館に、このほど立派な新しい時計がお見えしました。贈られた時計は、町内新町の商業、鰐石順朗さん(五〇)で、かねてから図書館を利用して、たまたま同館に掛けてある時計が古く故障しているのに気づき、自発的に寄贈したものです。

同図書館では、さっそく館内の日本間にかけて役立てています。



大繁盛の品評会

野菜など百八点

町と農協の共催による「農林畜産物品評会」は十二月十七・十八日の二日間、農協会議室で行われました。

出品されたものは、白菜や大根竹の子など百八点で、品質の良い出品物に審査員も汗をかきながらの品さだめ。

二日目は、展示された品物を即売するとあって、新鮮で公害のない、しかも市価より安く、安心して食べられると、お客さんが三々五々つめかけ、たちまちのうちに売れてしまった。

また、「ごぼう」など少ない出品物は、買い手が多くセリ売りする有様で、落札した買物客は正月料理に使いますといかにも満足そうでした。



錦江小で県交通安全

教育大会開かれる

第六回鹿児島県交通安全教育研究大会は十二月一日、錦江小学校で行われ「子供を事故から守ろう」と、関係機関の担当者たち約三百人が集まり熱心に討議、今後の運動方針を決めました。

大会では、まず加治木町幼児安全クラブをはじめ町内の各学校がそれぞれ安全活動の事例を発表、県警本部の助言で安全教育をさらに徹底させていくことを申し合いました。また、県交通通親の会々長「要 真紀子さんが、夫を交通事故で失ったあと、三人の子供をかかえてがんばっている体験談を発表、参加者を感動させました。今後は家庭、学校、地域が一体となって交通安全への実現をはかることを決めて大会を終了。



たこは手づくりで

錦江小の六年生達

「たこは手づくりで」と、町内錦江小学校(宮路茂男校長・児童五百六十二人)では、十二月十三日六年生九十三人と父母五十五人が体育館に集まり、正月のたこづくりの講習をうけました。

たこづくりの講師には「たこ博士」で知られる曾於郡大隅町大隅北小の向井勇教頭をお願いしての指導で、本格派のお手本を披露しながら、やさしくわかりやすい指導に、子供たちはのみ込みも早く手ぎわよく仕上げ、絵まで描き込んでいった。

つくった、たこは「グニャグニャだこ」「フエニックス」の二種類子供たちは、自分でつくった「たこ」をそれぞれ持ち帰り家族の前で鼻を高くしたことでしよう。



町の秋季弓道大会

団体優勝は役場A

町の秋季弓道大会(町教委主催)は十二月十八日、町の弓道場に七十人の中学、高校、一般の弓士が参加盛大に行われました。

一般個人で田中の四元義昭さんが優勝。学生の部では加中の山下百合子さん、加工高の川井田義幸さんがそれぞれ優勝しました。

成績は次のとおりです。

【団体】中学の竜門中B②竜門中A③加治木中B▽高校①加工高A②加工高A③加工高B▽一般①役場A②池松川平組③役場B、

【個人】中学①山下百合子②井上正一③二見寛史▽高校①川井田義幸②花田、勉③吉田、隆▽一般①四元義昭②池田演幸③杉田淳平。



町連合婦人会

明けまして
おめでとう
ございます
本年もよろしく
お願い申し上げます

(婦人会だより)

冠婚葬祭の簡素化 運動を推進

▽この度、町連合婦人会では冠婚葬祭の簡素化運動を推進するため十二月の代議員会で婦人会員全部に「ちらし」を配りました。必ず実行してください。

▽私たちの家計の中で一番多く支出している費用は？と、話し合いましたら交際費でした。

▽三・四年前「おかえし」廃止のカードを利用して、おかえし廃止運動を実行してきましたが、いつの間にか「○○さんはおかえしがなかった」とおかえしを待っているような人も出てきました、そしておかえしが虚栄心や見栄を張り世間体を考へて行われ、祝儀、不祝儀の額を釣りあげてきました。

▽地域社会に於けるお互いの人間関係を、はぐくむ多くの行事を大事にしつつ「おかえし廃止」「おかえしを受取らない」あたたかい真心を送り、信頼を深め合う冠婚葬祭であってほしいと思います。

冠婚葬祭の祝儀・不祝儀上限額

結婚披露宴	五千円内(よばれた時)
出産祝	千円内(よばれない時)
病氣見舞	五百円以内
おくやみ	五百円以内

▽親せきなど特殊な関係の場合は例外とします。

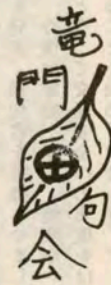
▽披露宴は当事者にとつて、大きな経済負担ですので、参列者の自蘭と、特に当事者側の深い理解によつて形式や見栄にとらわれない、より実質的な健全なものに改善していきたいと思います。その一つとして、引出物は廃止したらどうでしょうか。



以上のような主旨で、冠婚葬祭の簡素化運動を推進していきたいと思いますが、社会教育委員の方々と公民館長さん達にも、ご賛同いただきましたので町内全部の方々に、特に青年の方々に継続してご協力をお願いいたします。

生活学校運動(洗剤)

■九月二十五日町の福祉センター



転職の、恋しみじみ冬日和
散る銀杏晩年を子に何託さむ
是枝 快春

編み急ぐ妻の日課も師走なり
井之上透山

暖炉燃え歯科医の訓示神妙に
恒吉 斗南

散柳髪染めの皿少し欠け
中山 待香

嶺越えしよりぞ木枯し激しけむ
で事前学習をいたしました。
講師は消費センター所長の向吉先生をお招きして「洗剤」についてお聞きしました。

○無公害の洗剤はない
○使用は適量に使うこと
対話集会

■十一月三十日町の図書館日本間に、保健所、商工会、エビスヤや江夏の洗剤売場の店長さんとひざをまじえて話し合いました。

○無公害の洗剤はない
○表示をよくみて買うこと
○正しい使用法をわかり、正しく使うこと

○「私一人ぐらい」の気持をすてて適量を使うこと、カップではかる。

今月の 納税 町民税(四期)・保険税(五期)



文化財めぐり

神社は大字木田にあつて、祭神は島津義弘の第一夫人の霊がまつてある。随神は神体木像で丈一尺、お供所は本社東側にあり別当寺として宝現寺があつた。

宝現神社

(隈姫神社)

義弘の夫人は肥後国球磨郡相良家の女で義弘と結婚、球磨御前と称していた。義弘が飯野在城の折相良家が島津家に反抗したので離別した。そこで夫人は、山田村の辺川(今の加治木町)が自分の化粧田(領地)であつたのでそこへ移り、同地の観音湖に十七日の間、腕に香をたきそのまま水中に倒れて亡くなつたといふ。

その後、島津家にたたりがありいろいろ怪異のことが多かった。そこで、義弘は慶長年間現在のところ、杜殿ならびに別当寺を造り、光親法印を開山とし神領高三十石を与えた。そして、義弘の御座所へは隈姫の霊魂を安置したといふことである。



鎧武者腰にぶらさげ紅の柿
林 玄洋

国の無形民俗文化財になった

西別府の吉左右踊・太鼓踊



る。顔は白粉で化粧し、黒犬の毛皮で作った口ひげをつけ、陣羽織に脚はん、わらじばきの姿。

吉左右踊りはシュロの皮で作られたカツラ、素足に脚はんをはき一人は白装束、一人は赤い着物にナワのたすきをつけ、二人のキツネがドラを打ち鳴らした後を赤、白のタスキに陣羽織を着て、日の丸の扇を手に軽快なリズムで踊る。この二つの踊りが一つになると実に勇壮で美しく祝いの踊りとして各地へ招待されることも多いようです。

年中行事の一つで、毎年踊り継がれている町内西別府の県文化財指定「吉左右踊・太鼓踊」が、このほど国の無形民俗文化財に指定されました。保存会（新 誠二会長）は「これを機会にさらに踊りを充実させ、若い人たちに引き継いで行きたい」と喜んでます。この踊りは太鼓踊りと吉左右踊りの二つに分かれ、それぞれ一つの踊りとして成り立つ。太鼓踊りは現在、西別府をはじめ反土、木田、小山田の各地区に伝わり、残っているが、吉左右踊りは西別府地区だけに伝わり、毎年盆あけに踊られています。太鼓踊りはホタ振り、かね、太鼓打ちなど二十人で構成されてい

飲酒運転追放のため

協会婦人部が立看板

毎日といってよいほど、飲酒運転による交通事故が、新聞にのらない日はないようです。

今年も加治木管内での死亡者が増え、八月には「非常事態宣言」が出されました。このような中で年末年始の飲酒運転を追放しようと交通安全加治木支部の婦人部（坂元広子部長）が立ちあがり、このほど標語入り立看板二百五十本を作り、加治木警察署管内四か町に立てました。

年末年始はいつも飲酒運転が増

→立看板と婦人部の人達



えるため、これら事故を未然に防ごうと、商店などの協力を呼びかけたところ百二十万円集まり、縦二、横五十センチの木製立看板を作った。

立看板には「これぐらいと思ひ飲む酒命とり」「まあ一杯一杯どろろが事故のもと」などの婦人部員が考えた標語が書かれており、この看板は協会の男子役員の手で加治木、始良、蒲生、溝辺町の要所に立てられ、運転者への注意を呼びかけています。

子どもは風の子 毎朝はだかでランニング

永原小学校

子どもは風の子」とよくいわれていますが、最近あちこちでは「はだか」の運動がなされつつあります。

本町にも霜の降りたグラウンドで毎朝上半身はだかでランニングしている学校があります。

それは市街地から約四キロ山の上にある永原小学校（大山歌子校長・児童百二十六人）です。

ほとんどの子供がスクールバスで通学しているの、どうしても体がなまるといふことから、昨年六月から裸のランニングが始まりました。始業時間の朝のひととき全児

童をはじめ、スクールバスの運転手さんから給食婦のおばさんまでが、トラックを駆けている。男子は全員、女子は低学年が上半身はだかで走り、上学年は薄いシャツ一枚だけ。

朝七時四十分から八時までの二十分間、百五十メートルのトラックを十五周から二十周を限度として走り



少し寒いががんばらなくちゃ

毎日の記録も忘れない。走り終わったあとはタオルで乾布まきつも欠かさず、カゼもひかないとのこと。

最初は裸になることに抵抗があったもの、日がたつにつれて徐々に慣れ、一年半たつたいまでは寒さに対する抵抗力もでき「登校が規則正しくなり、あいさつや動作がてきばきと元氣よくなった」「歩くことや走ることでも息切れしない」など効果もでてきた。

また、町の各種記録会やスポーツ大会でも上位入賞が続出、先生たちも大はりきり今朝も大山校長子どもたちと走っていた。

同校ではこのほか、自転車の整備点検も実施している。不合格車は整備して点検を受けないと路上は乗れません。

今回実施された点検は、十一項目からなるチェック箇所をきめて先生とPTAが協同で各家庭を訪問、一週間かかって点検したものです。「ブレーキのきかないもの」「油切れしたもの」「ネジの取れたもの」など、危険な自転車もあり、これからも定期的に点検を実施し、来年は筆記のテストも計画しています、と大山校長は話していました。

交通事故の減らない現在、子供と老人の事故はもっとも多く、まして坂道の多い所での自転車乗りは、一歩まちがうと命とりにもなりかねない。もっと各家庭が子どもの乗り物の整備には十分気をつけてもらいたいものです。